

【 07/11期決算および中期経営計画説明会資料 】

**基幹ビジネスをベースに、第二～第三の事業へと展開し
収益の拡大を目指す！**

～ 「生鮮MDシステム」による大手量販店向けビジネスが成長を牽引 ～

イーサポートリンク株式会社

大証ヘラクレス（銘柄コード:2493）

2008年 2月 1日

I. 事業概要	
・イーサポートリンクとは	3
・会社概要	4
・企業理念とビジネスコンセプト	5
・イーサポートリンクの事業概要	6
・システム構築によるイーサポートリンクの事業展開	7
・主要クライアント企業の紹介	8
・イーサポートリンクのビジネスモデル	9
・業績推移	10
II. 07/11期 決算説明	
・決算ハイライト	12
・セグメント別売上高／売上総利益	13
・損益計算書	14
・経常利益変動要因分析	15
・貸借対照表	16
・キャッシュフローの状況	17
III. 中期経営計画	
・これからの事業展開	19
・3ヶ年計画 全体像	20
・ビジネス別 売上高・利益計画	21
・3ヶ年 経常利益変動要因分析	22
・第一の事業 <基幹ビジネス>	24
・第一の事業 基幹ビジネスの3ヶ年計画	25
・第一の事業 基幹ビジネスの利益計画と要因	26
・第二の事業 <調達支援ビジネス>	28
・第二の事業 調達支援ビジネスの事業環境	29 ~ 30
・第二の事業 調達支援ビジネスとは	31
・第二の事業 調達支援ビジネスの利益計画と要因	32
・第三の事業 <販売支援ビジネス>	34
・第三の事業 販売支援ビジネスの事業環境	35
・第三の事業 販売支援ビジネスとは	36
・第三の事業 販売支援ビジネスの利益計画と要因	37

I. 事業概要

イーサポートリンク株式会社は
産地から売場まで
大切に育てられた生鮮青果物を、流通させるためのシステムを
独自の発想で開発・提案している企業です！

コンピュータ管理が困難とされてきた生鮮青果物流通で
独自のシステムによる
「サプライチェーン・マネジメント」を実現しました！

■ 設立 / 上場年

- ・設立： 1998年10月
- ・上場： 2006年8月10日

■ 代表者

代表取締役社長 堀内 信介

■ 事業概要

青果を中心とした生鮮品・花卉の流通におけるシステム事業および業務受託事業を展開

■ 資本金

24.7億円 (07/11期末)

■ 本 社

東京都豊島区高田二丁目17番22号

■ 拠 点

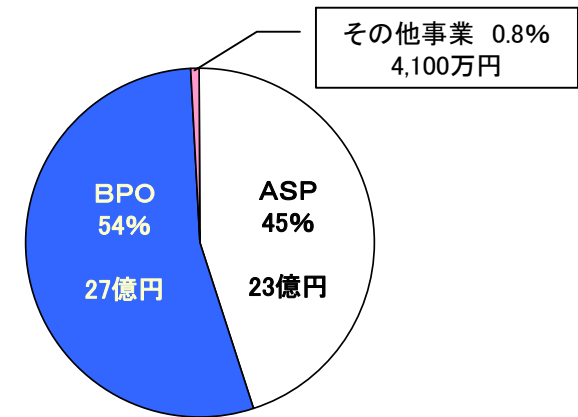
国内 8拠点

■ 従業員数

連結： 303名 / 個別： 295名 (07/11期末)

〔 他、臨時従業員数 (派遣社員、パートタイマー等) 〕
 連結： 93名 / 個別： 68名

■ 売上構成 (07/11期)



□ システム事業(ASP) ■ 業務受託事業(BPO) ■ その他事業

< システム事業 (ASP) >

- * 生鮮青果物流通システムをオンデマンドでサービス提供
- * 計画管理、データベース管理、在庫・出荷管理、経路管理、コスト管理等を、イーサポートリンクソリューションで解決

< 業務受託事業 (BPO) >

- * 単なる業務代行にとどまらない生鮮青果物流通を知り尽くした万全の代行サービス
- * システムだけでは対応しきれないプロセスを、プロの判断に基づき人的に対応

< その他事業 >

- * りんごの受託販売事業

イーサポートリンクは、業界のオンリーワン企業です！

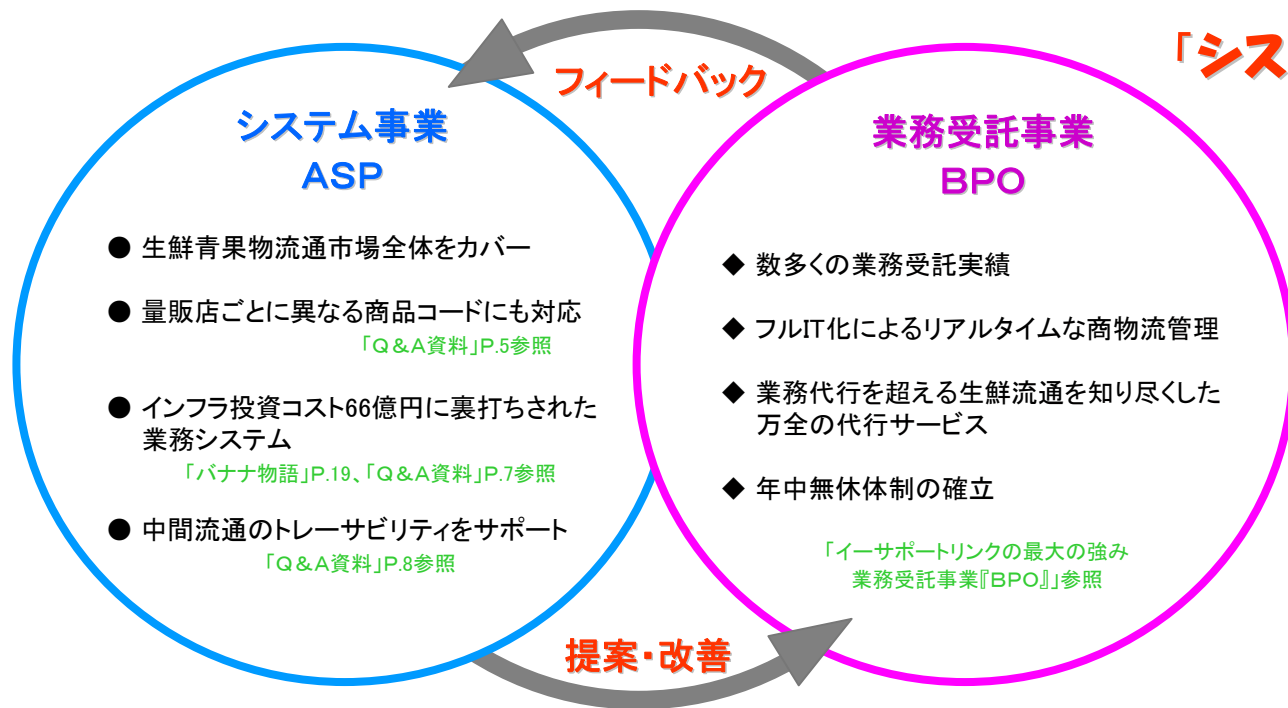
● 企業理念

… 生鮮青果物流通の“新しいスタンダード”を目指す！

● ビジネスコンセプト

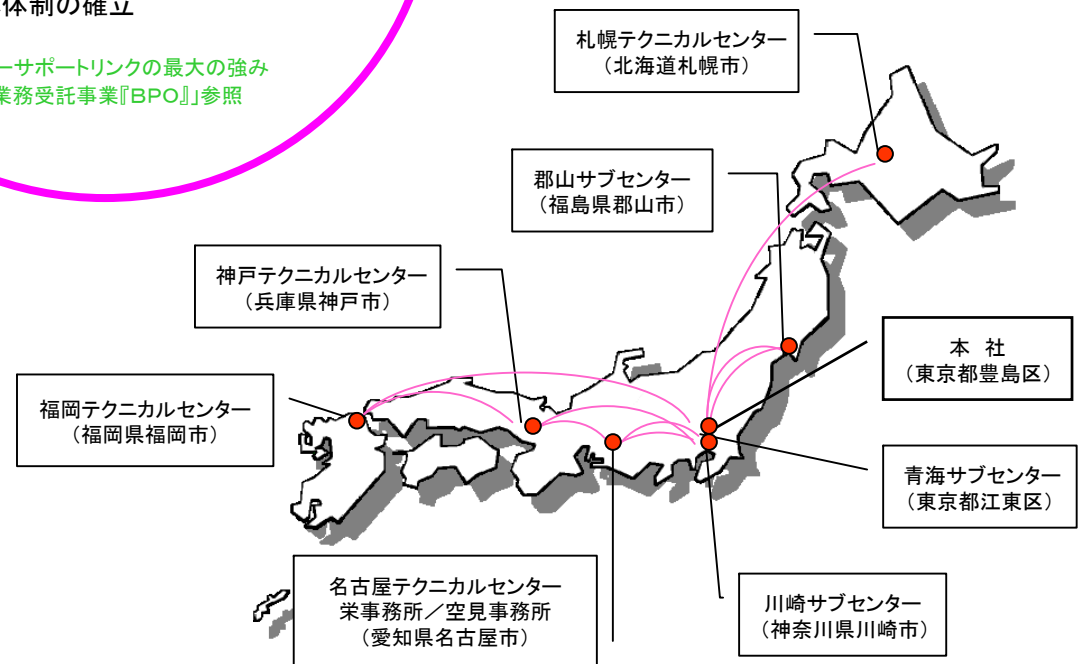
… 長年にわたる生鮮青果物流通活動の経験から蓄積された独自のノウハウと、ビジネスプロセスアウトソーシングにより生産者・中間流通業者・小売業者・生活者の全てを
Win-Winの関係にしていきます！

確固たるインフラで、生鮮青果物流通の効率化に貢献するオンリーワン企業

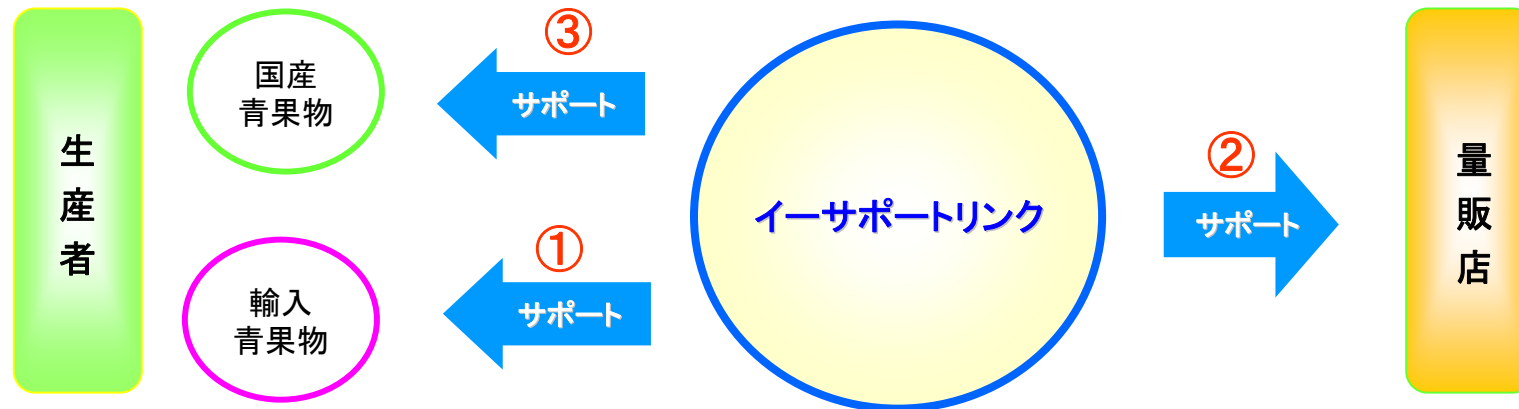


「システム事業」と「業務受託事業」の
有機的結合が
他社に真似のできない
当社の強み！

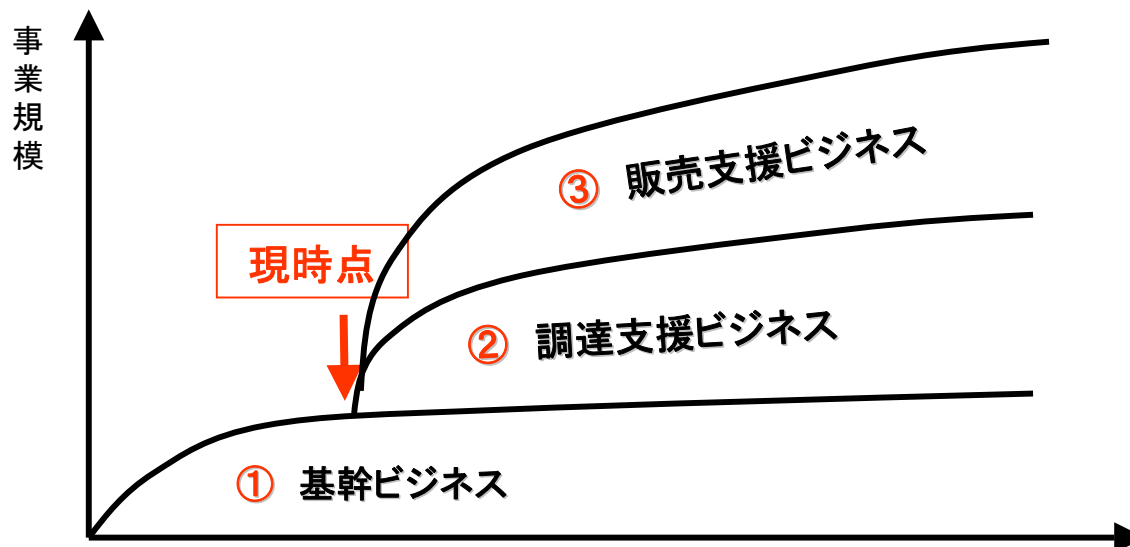
当社は、全国展開することで
データと情報を一元管理！



輸入青果物の流通支援で蓄積したノウハウを武器に新しいビジネスへ展開



<ターゲット顧客>



- ... 国産青果物の生産者・生産グループ
- ... 大手量販店
- ... 主要クライアント企業
(ドール、住商フルーツ 他)

生鮮青果物取扱い大手4社が、イーサポートリンクの基幹ビジネスを採用

ドール	住商フルーツ	フレッシュシステム	ケーアイ・フレッシュアクセス
<ul style="list-style-type: none">・代表者 ジェームス・プリドー・営業種目 生鮮果実・野菜の生産、加工、販売及びマーケティング活動他・売上高 637億円 (06/12期)・主要株主 ドールフードカンパニー (USA)	<ul style="list-style-type: none">・代表者 斎藤 譲一・営業種目 青果物の輸入販売・売上高 279億円 (07/3期)・主要株主 住友商事	<ul style="list-style-type: none">・代表者 堀内 達生・営業種目 果実・野菜の加工、包装、物流・売上高 196億円 (06/12期)・主要株主 フレッシュMDホールディングス	<ul style="list-style-type: none">・代表者 松丸 正明・営業種目 農産物（輸入農産物も含む）・加工品の卸売、青果専用センターの運営、ロジスティクス全般の一括業務受託・売上高 651億円 (07/3期)・主要株主 住友商事、伊藤忠商事、ドール

システム利用率

100%

100%

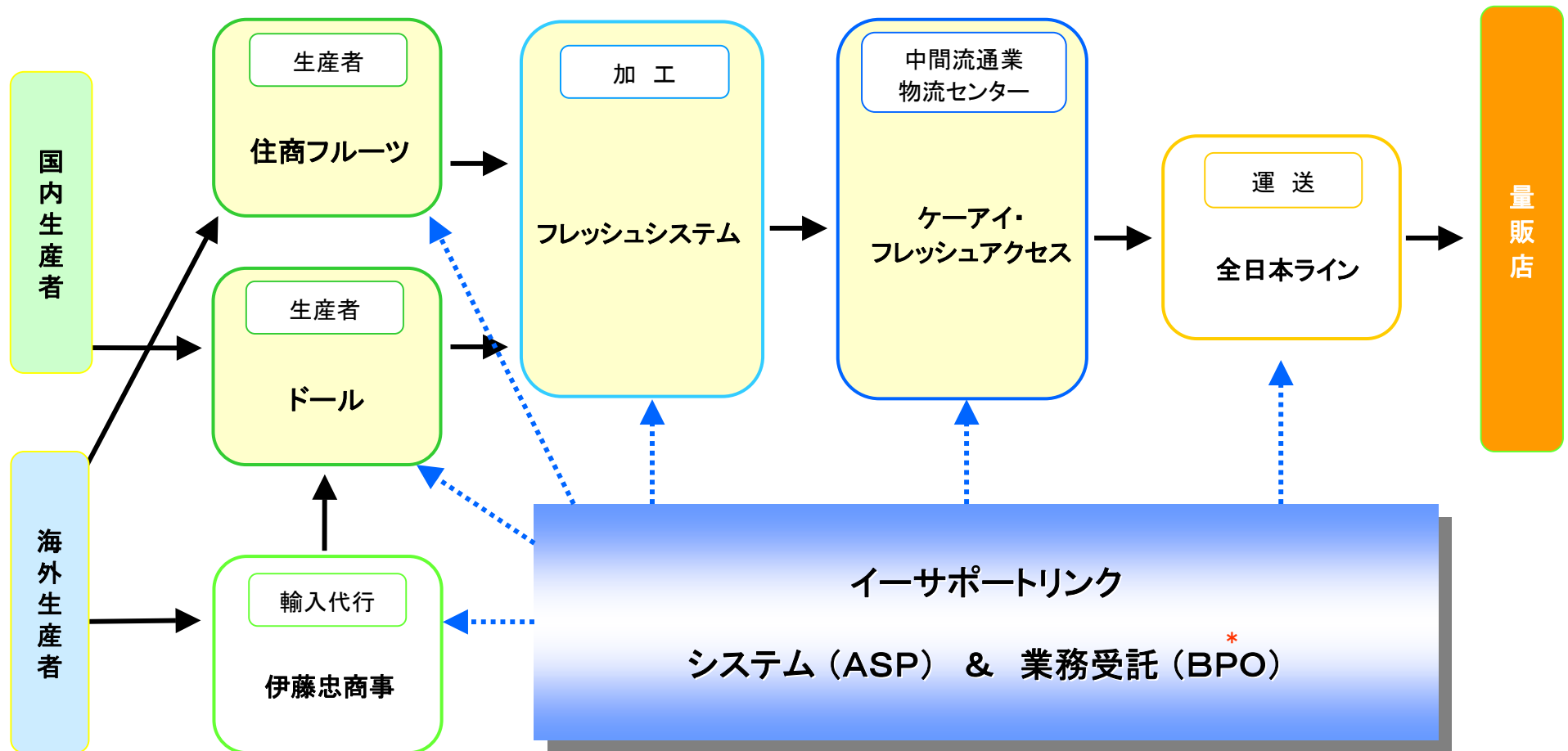
100%

100%

イーサポートリンク

当社の事業モデルは、サプライチェーンマネジメントシステムの提供

★主要クライアント企業は、生産から量販店までのサプライチェーンを構成

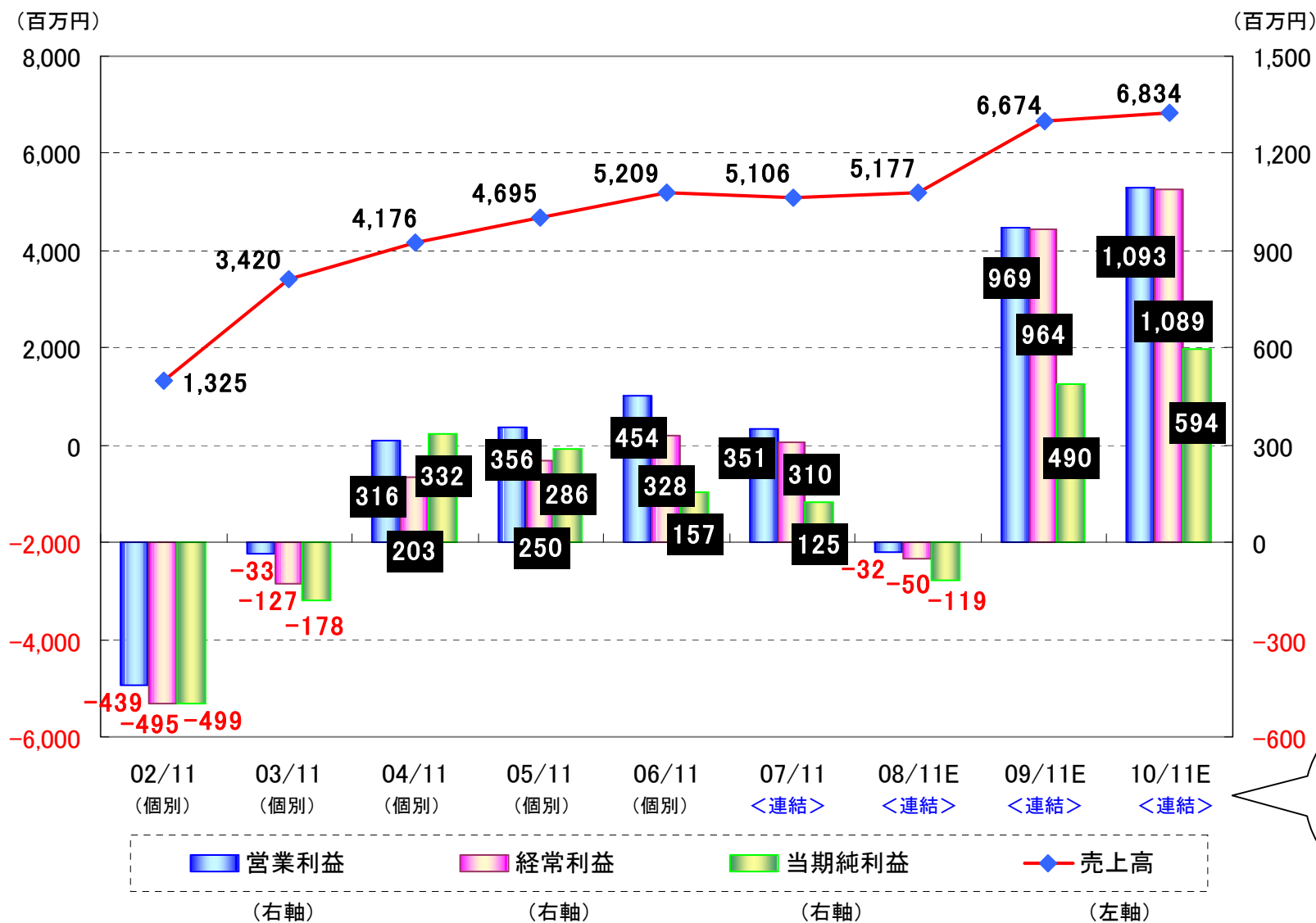


★ 主な取扱い商品
バナナ、パイナップル、キウイ、グレープフルーツ など、トロピカルフルーツ数種

注: この図解はあくまでイメージ図で、全ての取引がこの限りではありません。

* 付属資料「イーサポートリンクの最大の強み 業務受託事業『BPO』」参照

08/11期は一時的にマイナスとなるものの、業績は急回復を目指す！



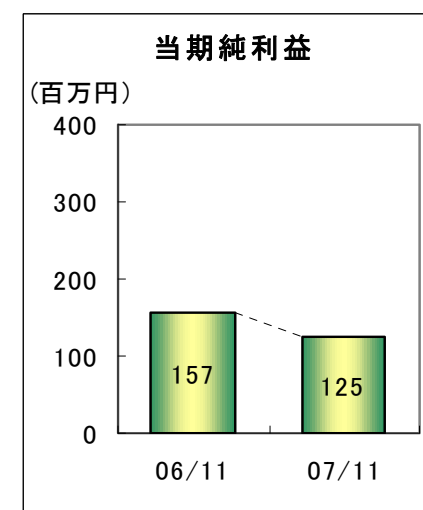
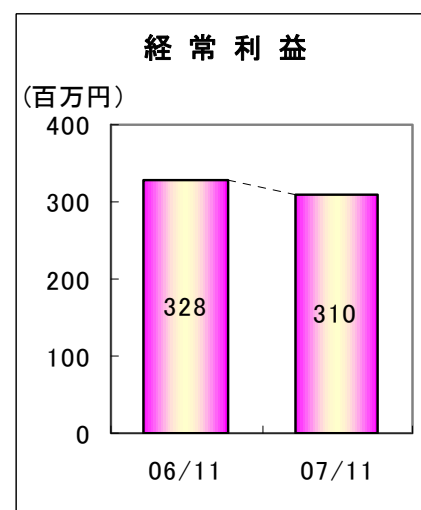
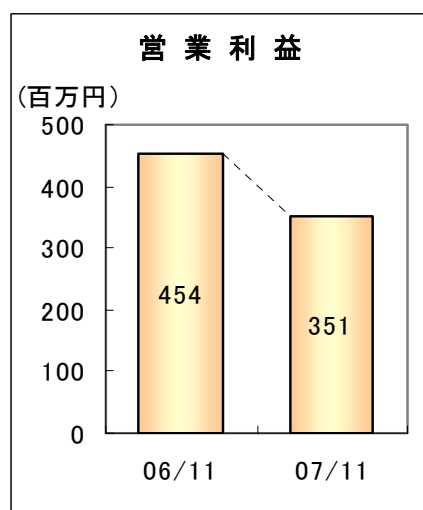
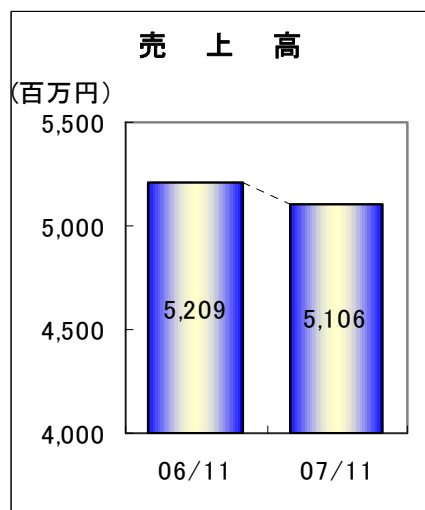
2007.4.1より
子会社が
加わったため
07/11期より
連結ベースで
表示

Ⅱ. 07/11期 決算説明

(百万円、%)

	06/11(個別) 通期実績	07/11(連結) 通期実績	増減率	07/11(連結) 通期予想	進捗率
売上高	5,209	5,106	98.0%	5,608	91.1%
営業利益	454	351	77.4%	453	77.6%
経常利益	328	310	94.3%	407	76.1%
当期純利益	157	125	80.0%	234	53.7%
ソフトウェア投資額	920	938	102.0%	2,089	44.9%
ソフトウェア償却費	1,146	977	85.3%	1,120	87.3%

※百万円未満切捨てで表記



ソフトウェア投資計画：生鮮MDシステム（計画）1,445 ⇒（実績）508（計画比）△937

ソフトウェア償却費：一部システムのリリース時期がずれたため減少

生鮮MDシステム投資金額が計画比△937にもかかわらず、ソフトウェア償却費が大きく減少していないのは、生鮮MDシステムのリリース時期を07/12月以降としているため、当初計画上、ソフトウェア償却費を見込んでいない。

セグメント別売上高／売上総利益

(百万円、%)

	06/11(個別)		07/11(連結)		金額増減	前期比
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	5,209	100.0%	5,106	100.0%	△ 102	98.0%
システム事業	2,294	44.0%	2,304	45.1%	10	100.5%
業務受託事業	2,915	56.0%	2,760	54.1%	△ 154	94.7%
その他の事業	—	—	41	0.8%	41	—
売上原価	4,228	81.2%	3,979	77.9%	△ 249	94.1%
システム事業	2,201	42.3%	2,046	40.1%	△ 154	93.0%
減価償却費	1,150	22.1%	972	19.0%	△ 177	84.5%
保守管理費	659	12.7%	694	13.6%	35	105.4%
その他	392	7.5%	379	7.4%	△ 12	96.8%
業務受託事業	2,026	38.9%	1,886	36.9%	△ 140	93.1%
給与	868	16.7%	829	16.2%	△ 39	95.5%
派遣料	367	7.0%	293	5.8%	△ 73	80.0%
その他	790	15.2%	763	15.0%	△ 27	96.6%
その他の事業	—	—	45	0.9%	45	—
売上総利益	981	18.8%	1,127	22.1%	146	114.9%
システム事業	92	1.8%	258	5.1%	165	278.5%
業務受託事業	888	17.1%	874	17.1%	△ 14	98.4%
その他の事業	—	—	△ 4	-0.1%	△ 4	—

< 主な要因 >

システム事業：
システム上カウントされるTR(トランザクション)件数は変わらなかったため、売上は横ばい

業務受託事業：
受注、移動等を伴う業務受託件数が輸入量、加工品の減少に伴い、売上は減少

システム事業：
保守管理費は増加したものの、減価償却費が減少

業務受託事業：
人員削減等により、総労働時間を削減し、コストは減少

※ 百万円未満切捨てで表記

(百万円、%)

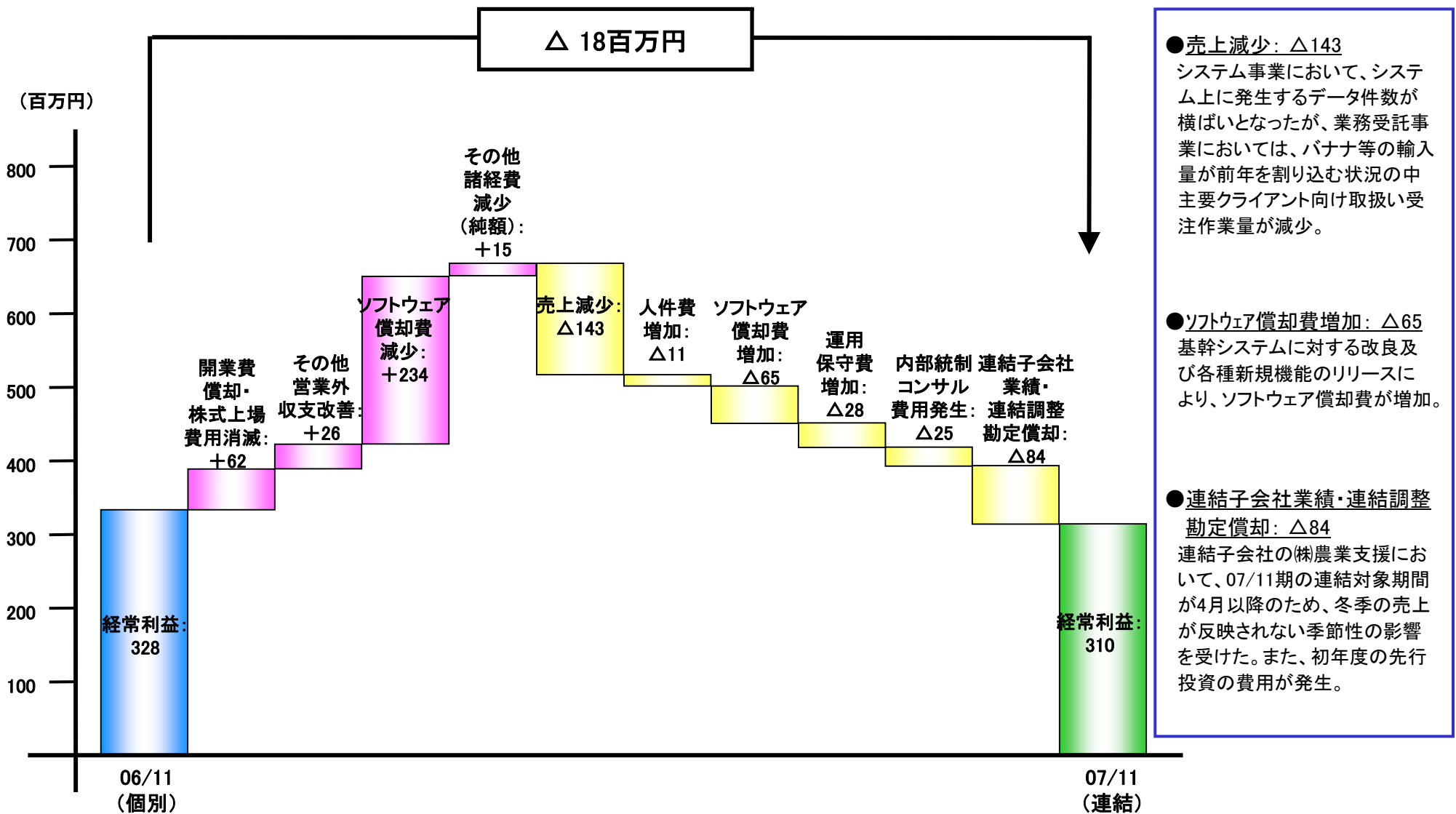
科目	06/11(個別)		07/11(連結)		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	5,209	100.0%	5,106	100.0%	98.0%
売上原価	4,228	81.2%	3,979	77.9%	94.1%
売上総利益	981	18.8%	1,127	22.1%	114.9%
販売費及び一般管理費	526	10.1%	776	15.2%	147.3%
営業利益	454	8.7%	351	6.9%	77.4%
営業外収益	0	0.0%	12	0.2%	6465.9%
営業外費用	125	2.4%	53	1.0%	42.6%
経常利益	328	6.3%	310	6.1%	94.3%
特別損失	37	0.7%	14	0.3%	39.6%
税引前当期純利益	291	5.6%	295	5.8%	101.5%
法人税、住民税及び事業税	125	2.4%	194	3.8%	154.7%
法人税等調整額	8	0.2%	△24	△0.5%	—
少数株主損益	—	0.0%	0	0.0%	—
当期純利益	157	3.0%	125	2.5%	80.0%
1株当たり当期利益	5,70254円		4,324.68円		75.8%

< 主な要因 >

- ・ バナナ等の輸入数量減少に伴う受注件数の減少により、業務受託の売上が減少
- ・ ソフトウェア償却費の減少
- ・ 人件費の減少
- ・ 管理体制強化による人件費増加
- ・ 新規～農業支援の販管費、のれんの償却発生

※ 百万円未満切捨てで表記

新規事業への投資が負担となり、18百万円の減益に



貸借対照表

(百万円)

	06/11(個別)	07/11(連結)	増減額
【流動資産】	2,114	1,410	△ 703
【固定資産】	2,921	3,460	539
有形固定資産	89	311	222
無形固定資産	2,677	2,735	58
投資その他の資産	154	412	258
【繰延資産】	5	2	△ 2
資産合計	5,040	4,873	△ 167
【流動負債】	1,058	962	△ 95
【固定負債】	426	228	△ 198
負債合計	1,484	1,190	△ 293
資本金	2,471	2,471	—
【資本剰余金】	1,233	1,233	—
【利益剰余金】	△ 148	△ 22	125
純資産合計	3,556	3,682	125
負債純資産合計	5,040	4,873	△ 167

< 主な要因 >

- ・(株)農業支援～固定資産および、投資有価証券等に投資
- ・エフティピーエス(株)、(株)フレッシュフラワーズ等へ出資
- ・割賦未払い金、長期借入返済等

※百万円未満切捨てで表記

(百万円)

	06/11(個別)	07/11(連結)	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	1,573	1,107	△ 466
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,218	△ 1,012	206
財務活動によるキャッシュフロー	273	△ 590	△ 863
現金及び預金同等物の増減額	627	△ 495	△ 1,123
現金及び預金同等物の期首残高	605	1,233	627
現金及び預金同等物の期末残高	1,233	738	△ 495

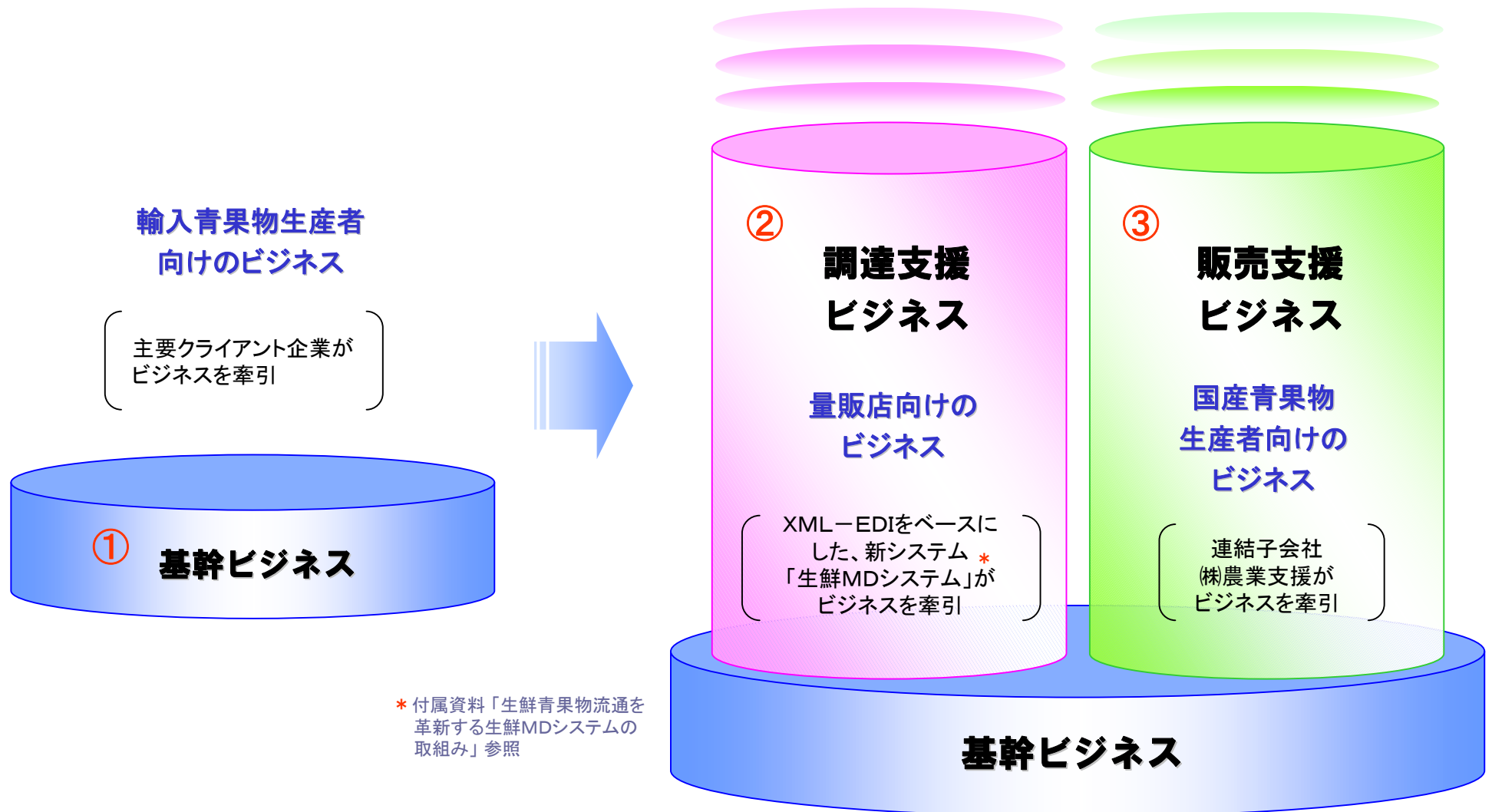
※ 百万円未満切捨てで表記

Ⅲ. 中期経営計画

基幹ビジネスで蓄積したノウハウを基盤に、新しいビジネスへ展開

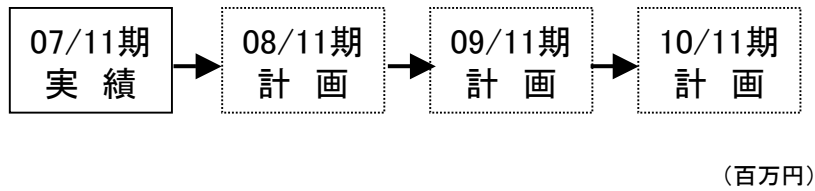
～ 07/11期

08/11期 ～

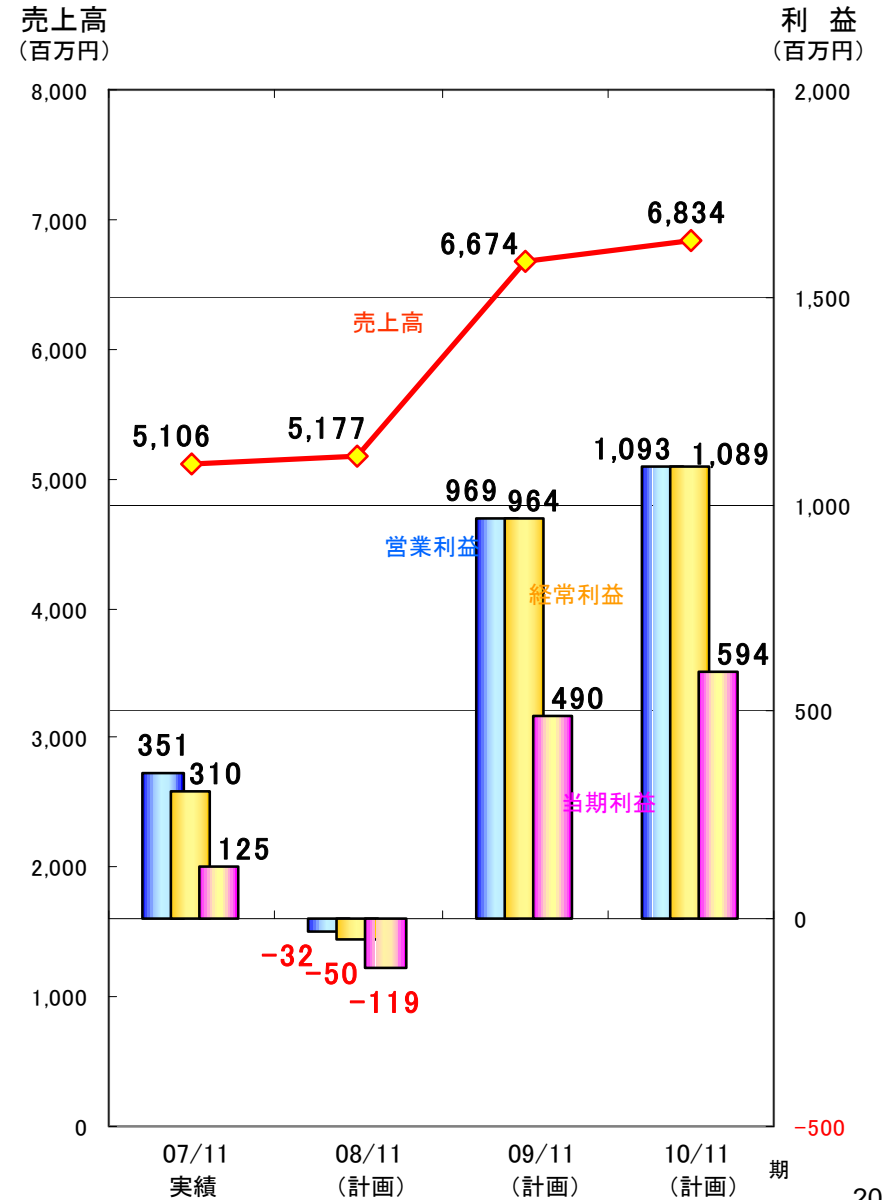


* 付属資料「生鮮青果物流通を革新する生鮮MDシステムの取組み」参照

08/11期の利益はマイナスとなるが、10/11期には経常利益3倍を目指す！

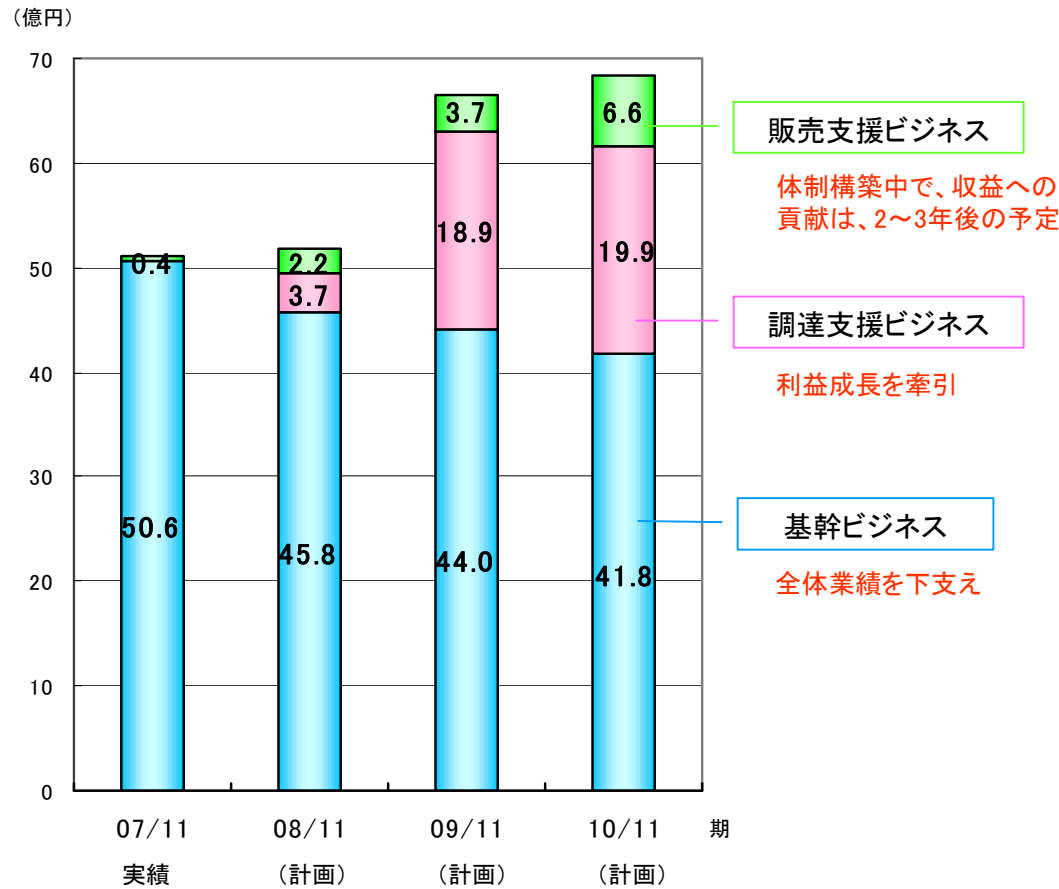


	07/11期実績	08/11期計画	09/11期計画	10/11期計画
売上高	5,106	5,177	6,674	6,834
営業利益	351	-32	969	1,093
経常利益	310	-50	964	1,089
当期利益	125	-119	490	594



基幹ビジネスを基盤に、第二～第三の事業へと展開し収益の拡大を目指す

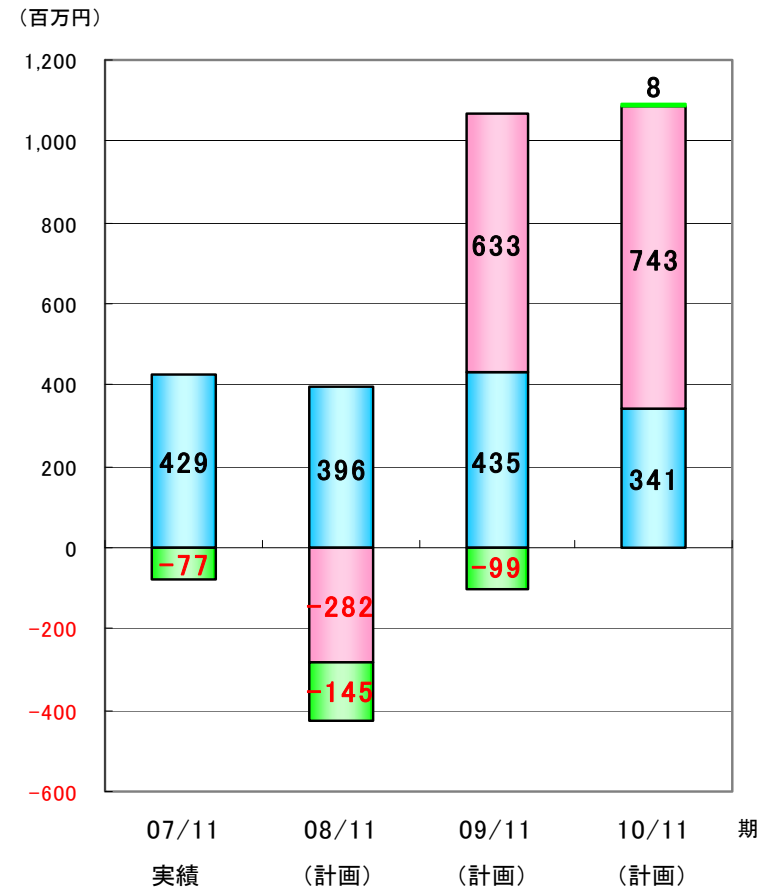
<売上高>



(億円)

	07/11	08/11	09/11	10/11
基幹ビジネス	50.6	45.8	44.0	41.8
調達支援ビジネス	0.0	3.7	18.9	19.9
販売支援ビジネス	0.4	2.2	3.7	6.6

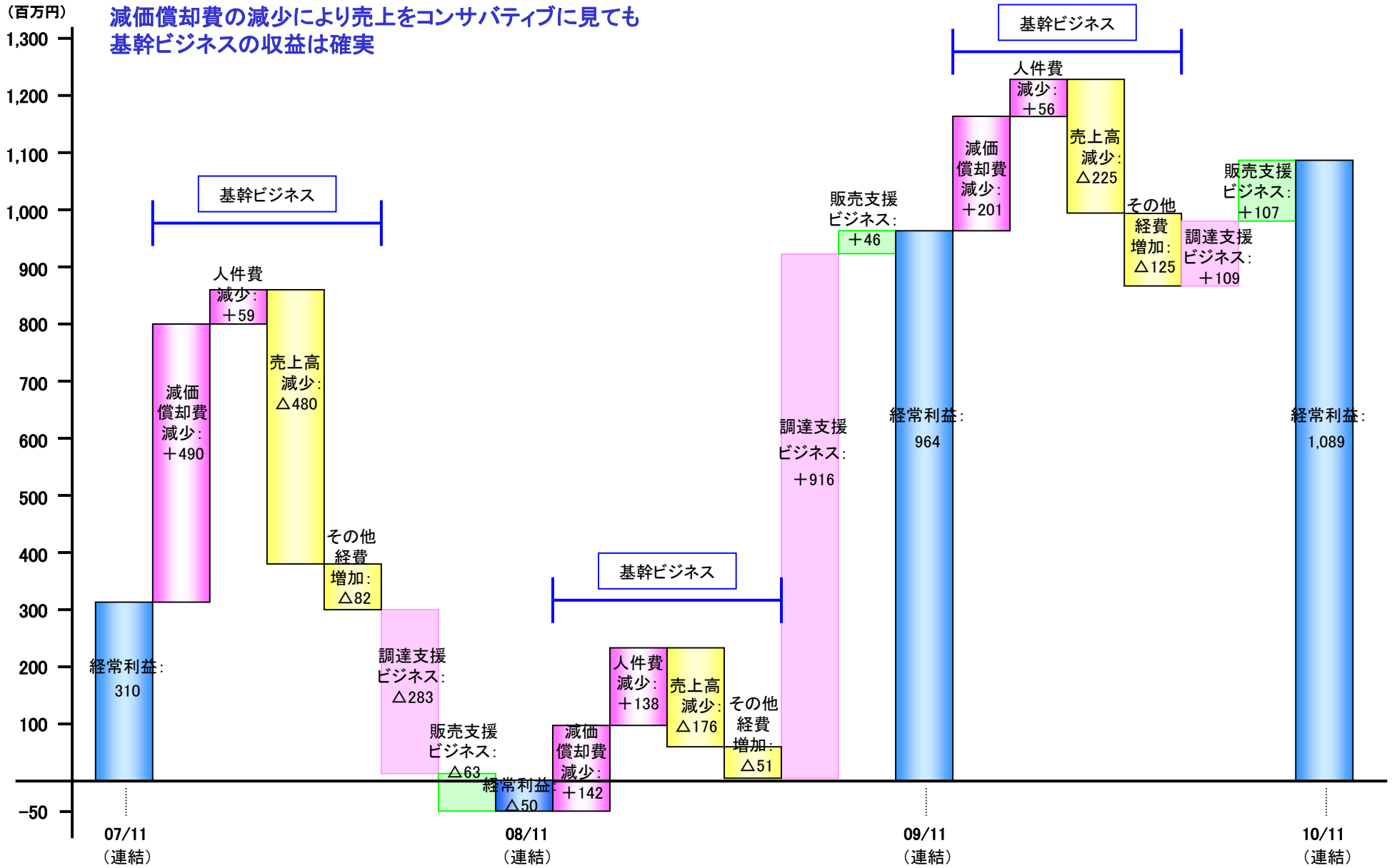
<営業利益>

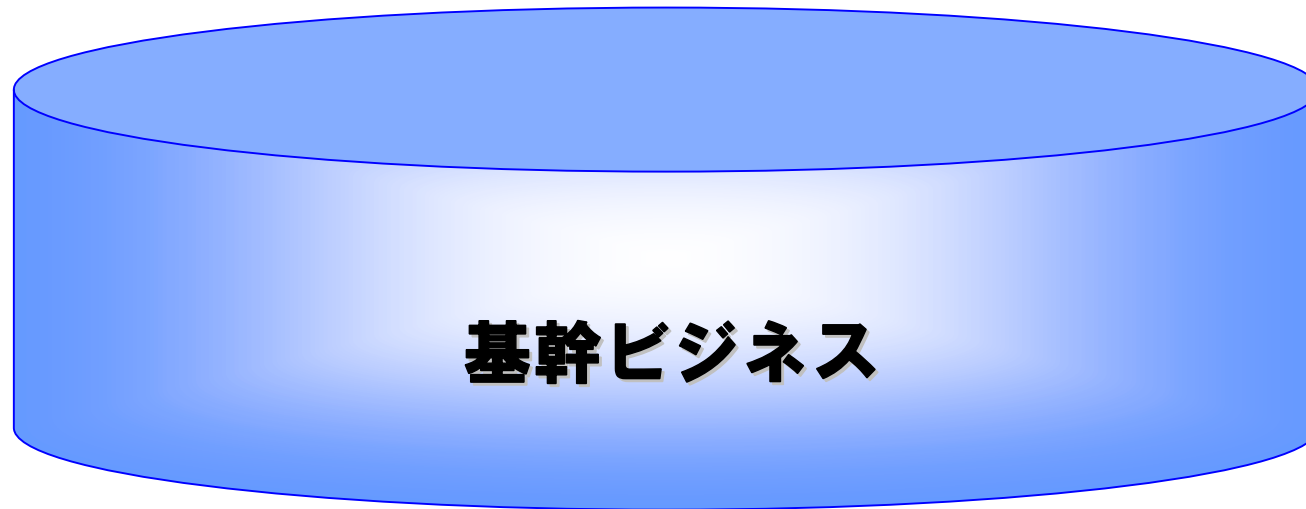


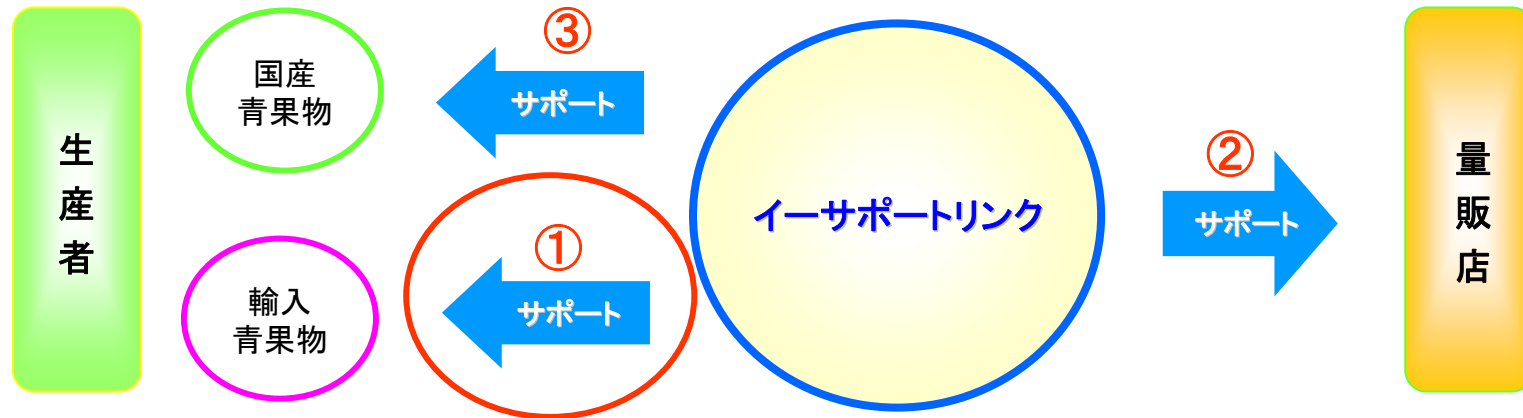
(百万円)

	07/11	08/11	09/11	10/11
基幹ビジネス	429	396	435	341
調達支援ビジネス	0	-282	633	743
販売支援ビジネス	-77	-145	-99	8

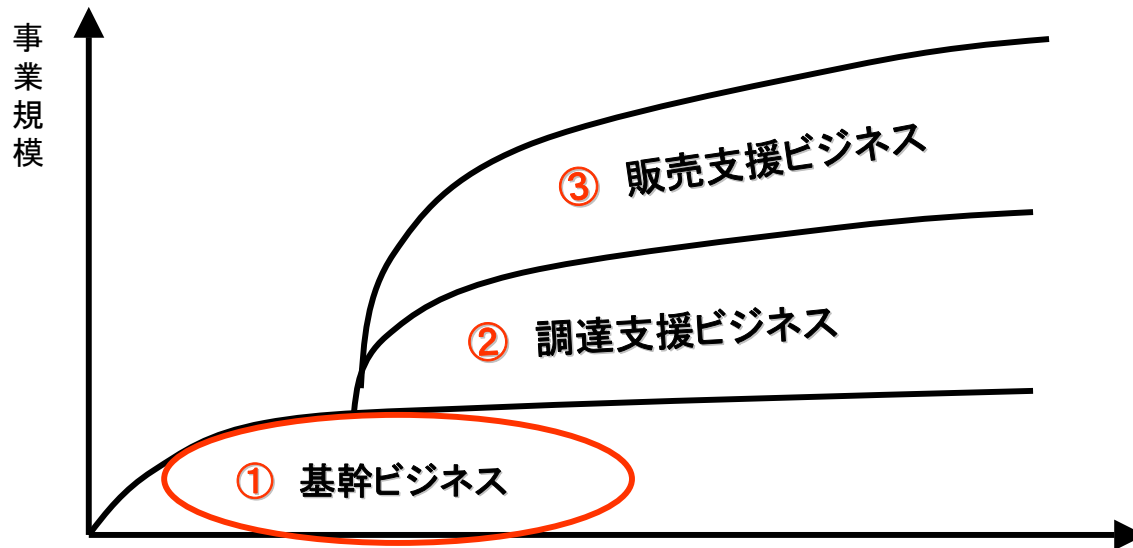
安定した基幹ビジネスを土台に、「調達支援」「販売支援」が収益の柱に育っていく







<ターゲット顧客>



- ... 国産青果物の生産者・生産グループ
- ... 大手量販店
- ... **主要クライアント企業**
(ドール、住商フルーツ 他)

システム <ASP>

- ◆ システムの安定とセキュリティーの向上
- ◆ JSOX対応等、サービス内容の拡充
- ◆ [次期基幹システム] 準備期間として位置付け、要件の整理

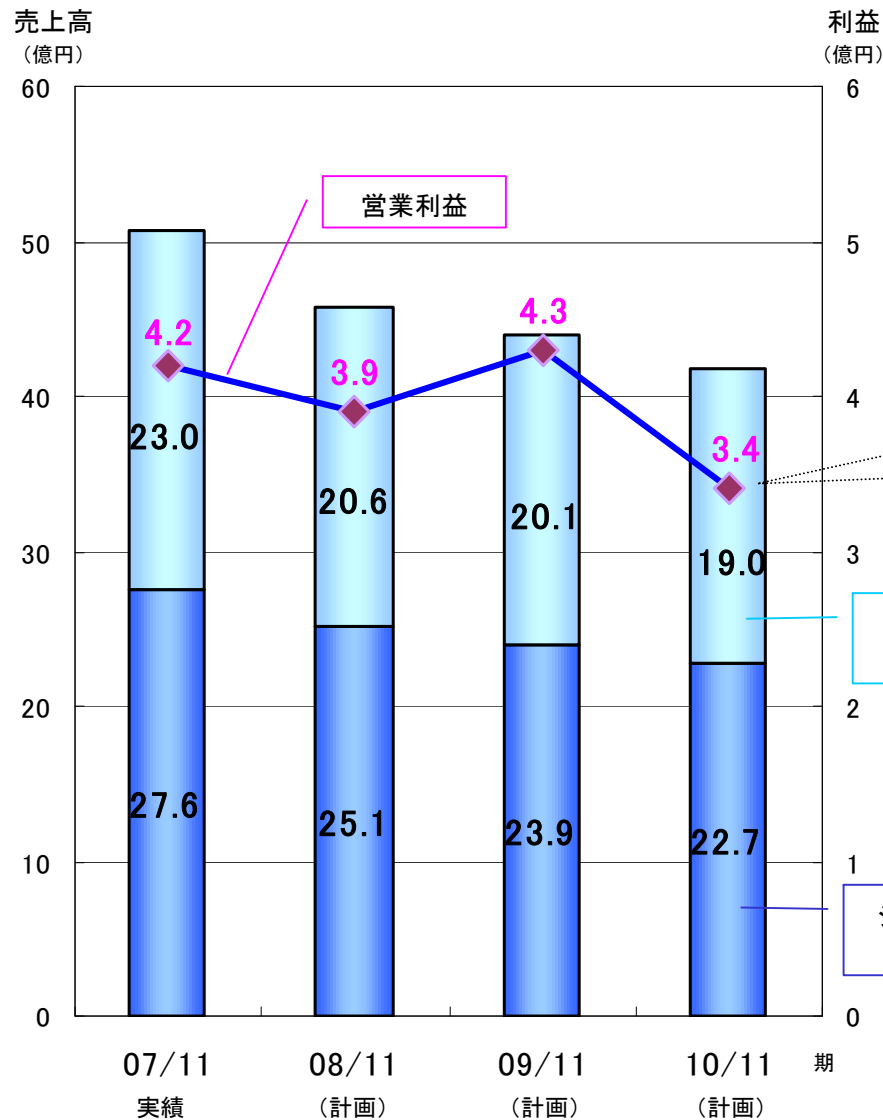
業務受託 <BPO>

付属資料「イーサポートリンクの最大の強み業務受託事業『BPO』」参照

- 業務の統合、標準化、人材の異動を進め、生産性を向上
- 作業の品質を上げ、高付加価値サービスをクライアントに提供
- コスト削減による、収益の確保とともに、新規ビジネスへの対応準備

変わる生鮮青果物流通に柔軟に対応！ さらに強化！

売上は減少気味ながら、収益基盤は安定

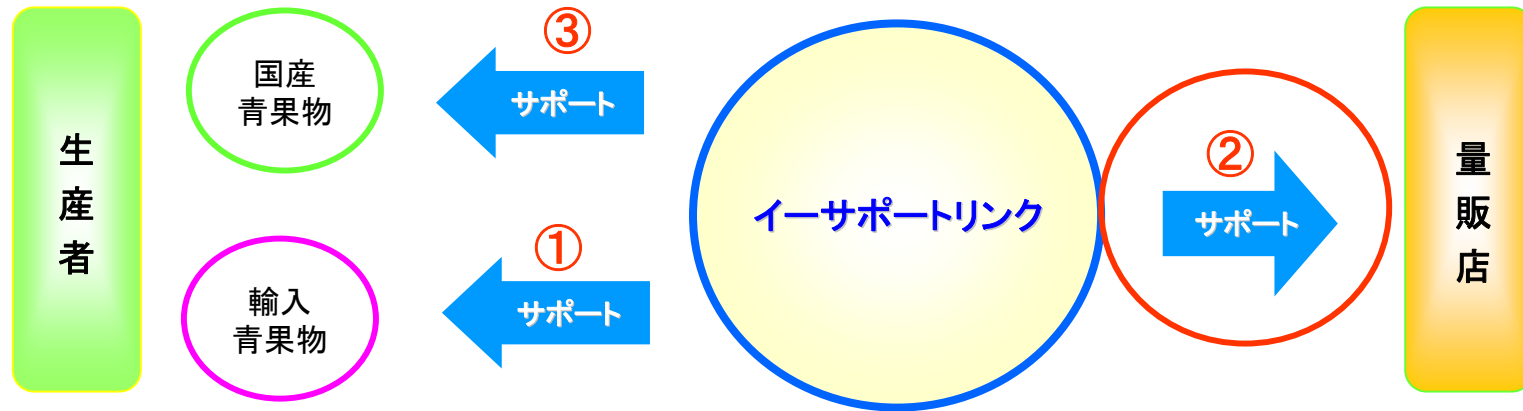


サプライチェーンを構成するクライアント企業の
堅実な事業をベースに「基幹ビジネス」は安定！

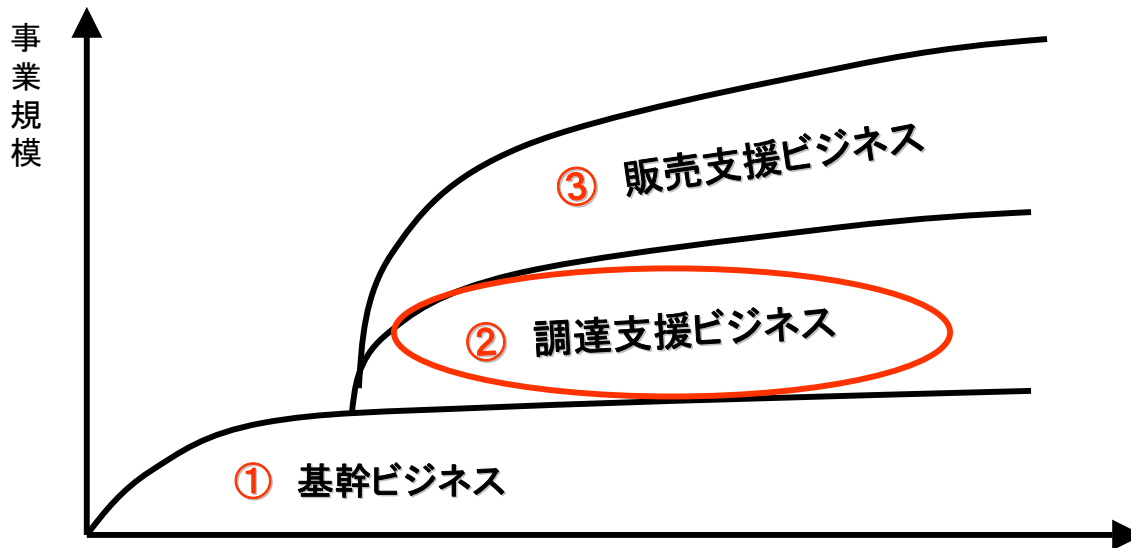
営業利益 $\Delta 0.9$ 億円
 ・[次期基幹システム] 関連費用: 0.3億円
 ・新業務受託調査費用: 0.2億円 を計上

■ 保守費の増加はあるものの、償却費の減少により
コストは全体として減少





<ターゲット顧客>



- ... 国産青果物の生産者・生産グループ
- ... **大手量販店**
- ... 主要クライアント企業
(ドール、住商フルーツ 他)

量販店のニーズに応えられるのは、イーサポートリンクだけ！

量販店側が求めるもの

受発注から物流管理まで
 生鮮品のMD^{*}トータル管理
 ↓
 データベース管理の確立



- 損益が見える仕組み
- トレーサビリティが確実な仕組み
- 商品の安全・安心の確保

量販店が求める

- 安全の確保
- 総合的な収益管理

イーサポートリンク
 なら応えられます！

* MD・・・マーチャндаイジング = 商品調達戦略
 詳細は、付属資料「生鮮青果物流通を革新する生鮮MDシステムの取組み」参照



生鮮品の流通システムを持つ
 他社SIベンダー

部分的に対応できるシステムは
 持っているが、トータライズされていない



データベース管理 } 不可能
 トレーサビリティ }

イーサポートリンク

システムが
 トータライズ
 されている



- 損益が見える
- トレーサビリティの実現
- 安全で安心な商品の提供



生鮮品が、加工食品と
 同様の基準で管理できる！

時代の要請を受け、これからはイーサポートリンクの強さが生きてきます！

★ 経済産業省が推進する、生鮮青果物流通の新しい通信手段

従来の通信手段(JCA手順など)は、制度的に限界が...

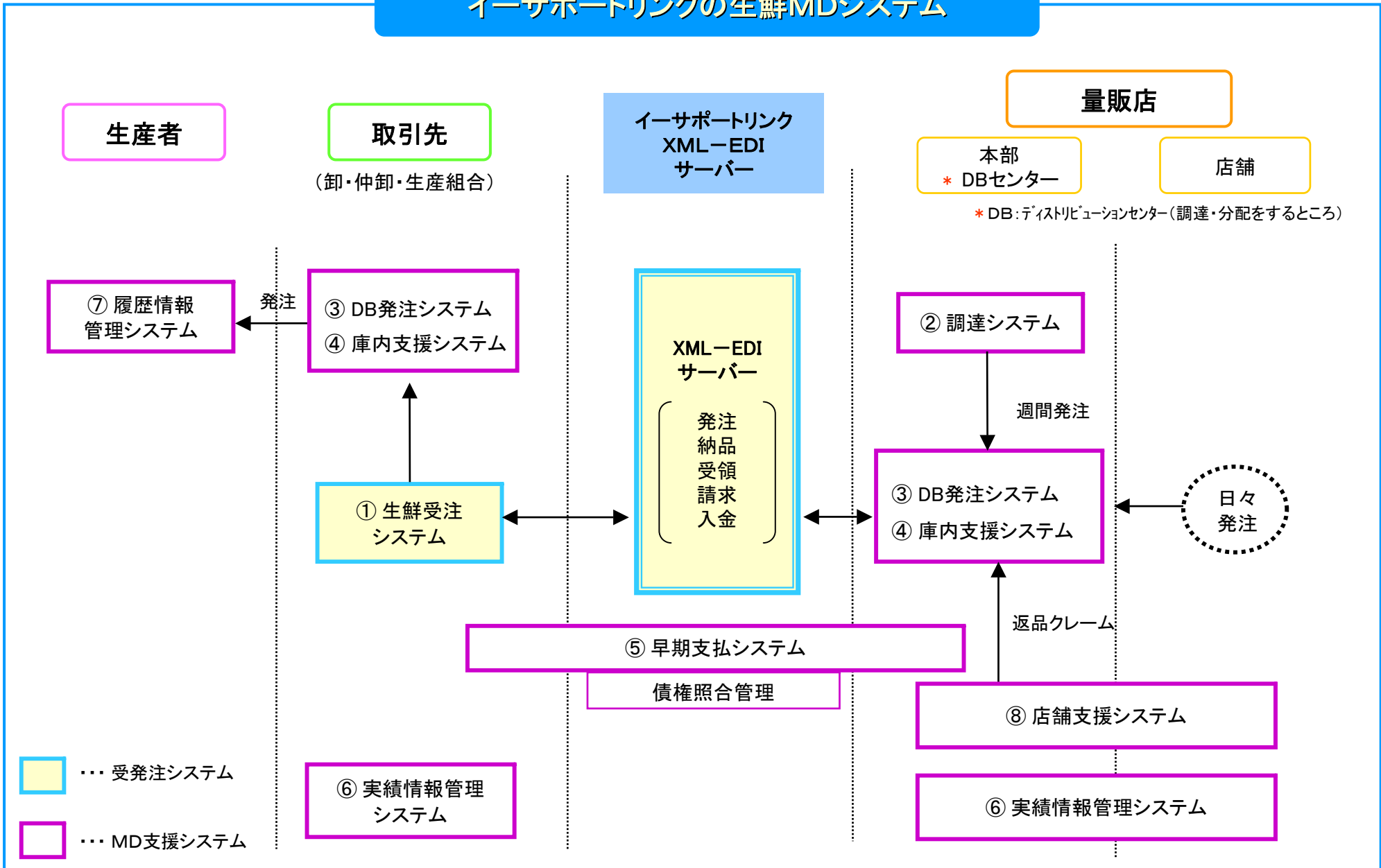


インターネットを活用した <XML-EDI> へ

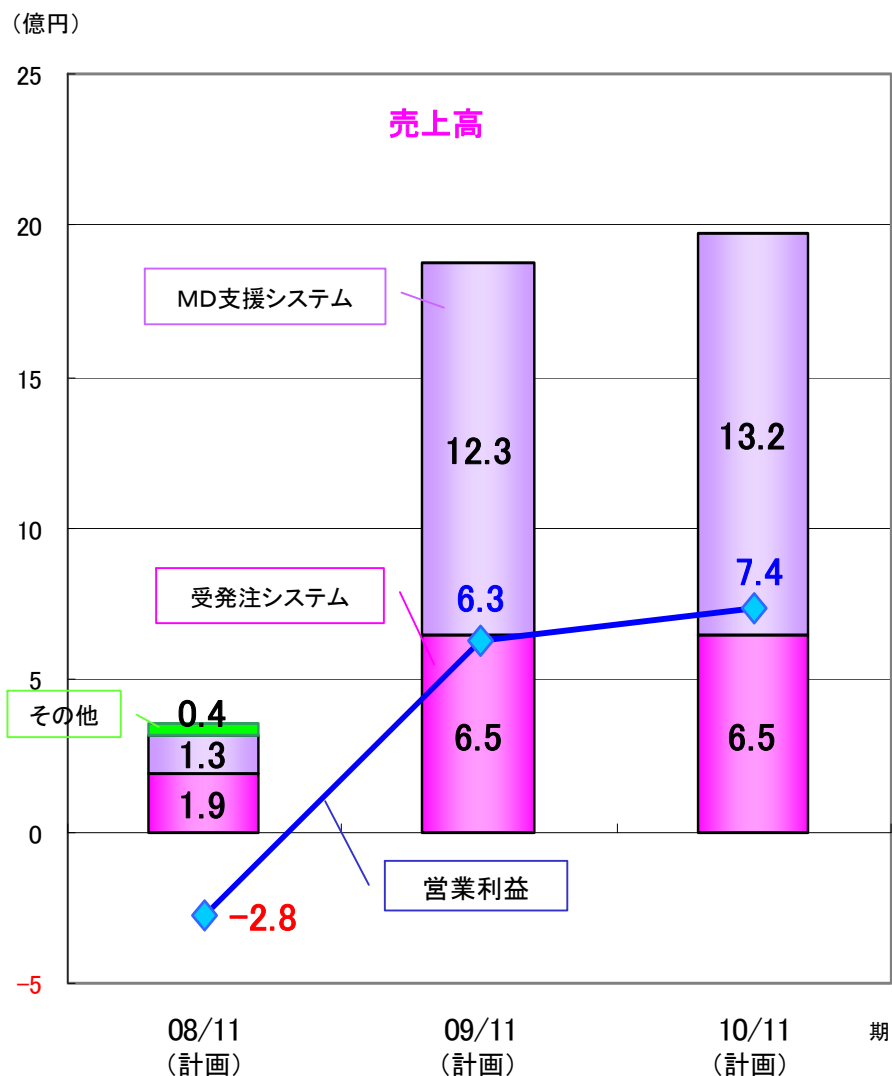
情報の遅延など
さまざまな
問題が...

**イーサポートリンクは、XML-EDIをベースに
新システム「生鮮MDシステム」を構築！
生鮮青果物流通のフロとして
他社SIベンダーとの差別化を図ります！！**

イーサポートリンクの生鮮MDシステム



第二の事業「調達支援ビジネス」が、収益を牽引



08/11期は、初期費用の増加により赤字
09/11期より大幅に収益に貢献！

★ 総投資額：約16億円

■ 08/11期は、導入費用／償却／保守費用が嵩み、売上は増加するものの最終赤字予想

■ 09/11期は、数社にシステム導入が進み、大幅に収益好転

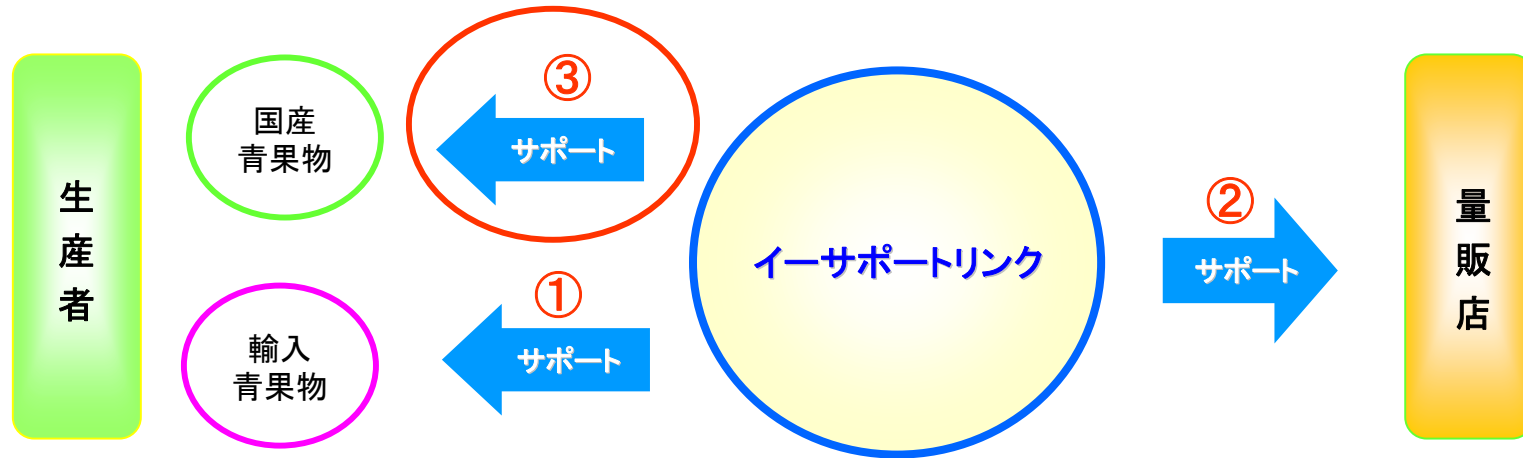
■ 10/11期は、その他量販店への営業活動を推進（収益の増加が見込めるが、現時点ではカウントせず）

<導入スケジュール>

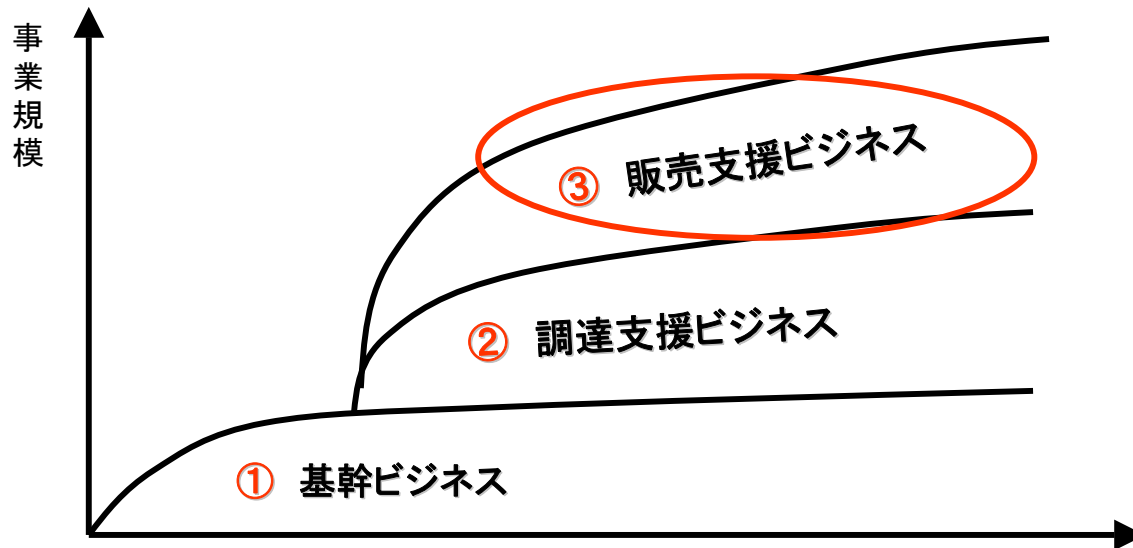
- ・受発注システム … 08年8月より、数ヶ月で全国展開
- ・MD支援システム … 08年8月より、1年弱で全国展開

■ その他… 既存MD支援システムで、09/11期より新システムに吸収





<ターゲット顧客>



... 国産青果物の
生産者・生産グループ

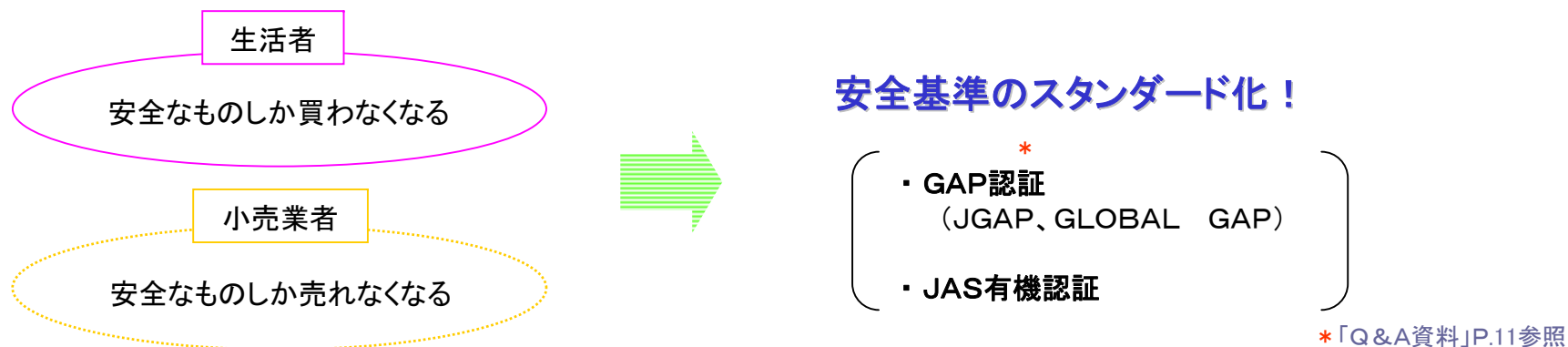
... 大手量販店

... 主要クライアント企業
(ドール、住商フルーツ 他)

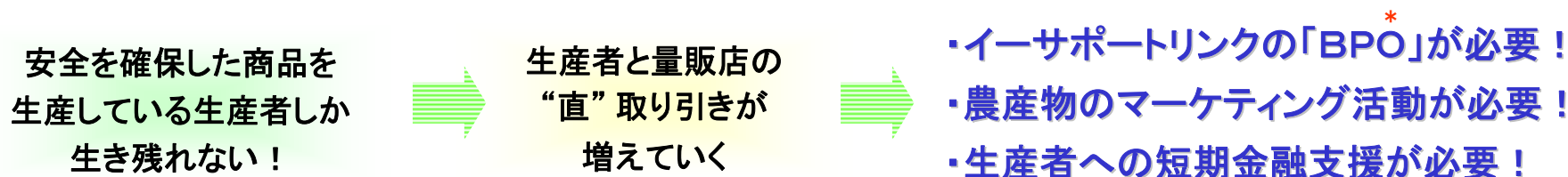
① 流通システムの標準化 (XML-EDI) (経済産業省主導によるもので、生鮮青果物は、08年4月より稼働予定)

受発注が標準化 ⇒ 同一言語で会話ができるようになる ⇒ **細かいレベルでのコミュニケーションが可能！**

② 生活者 (消費者) の意識変化

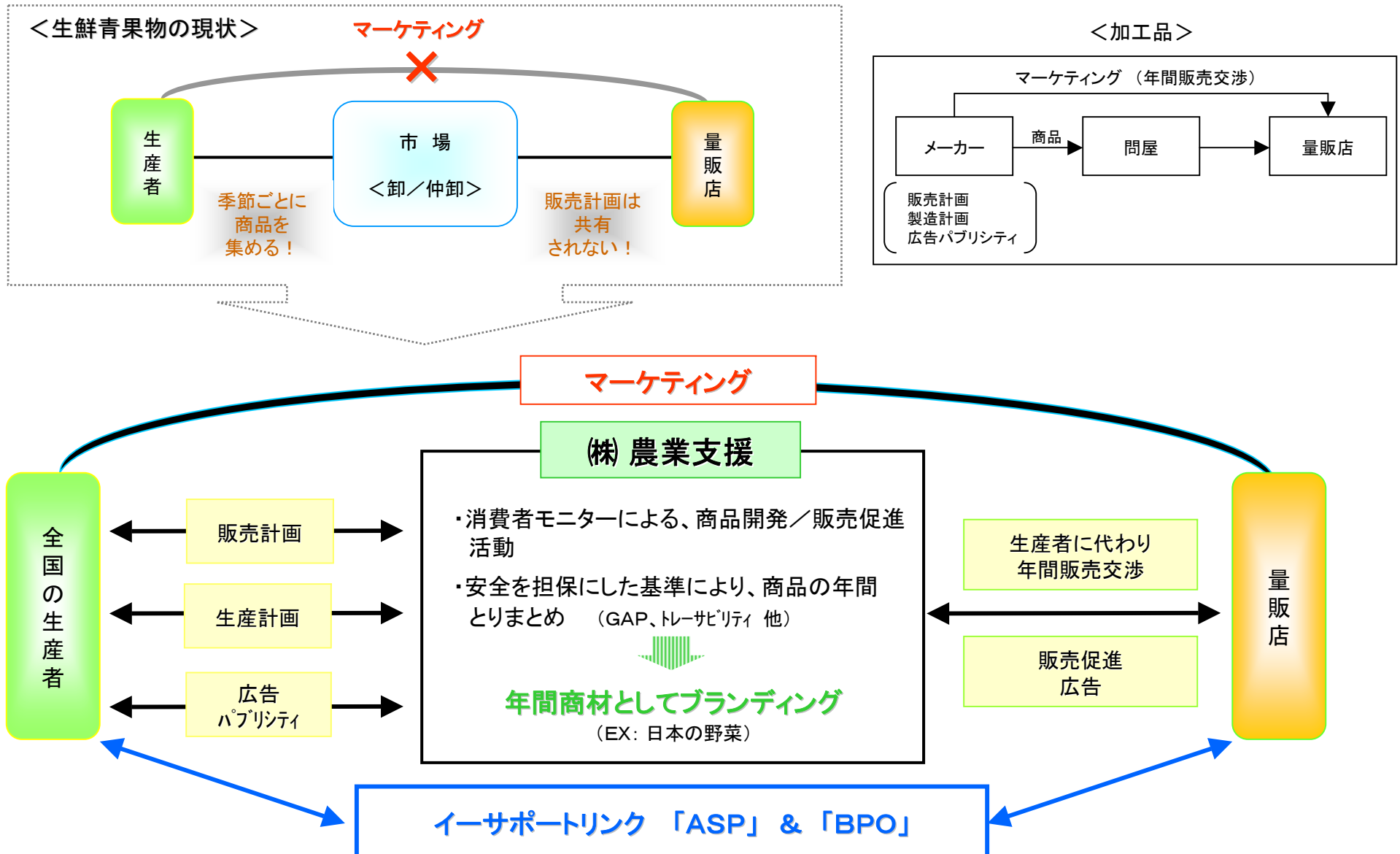


③ 「安全」を担保した担い手農家しか残らない

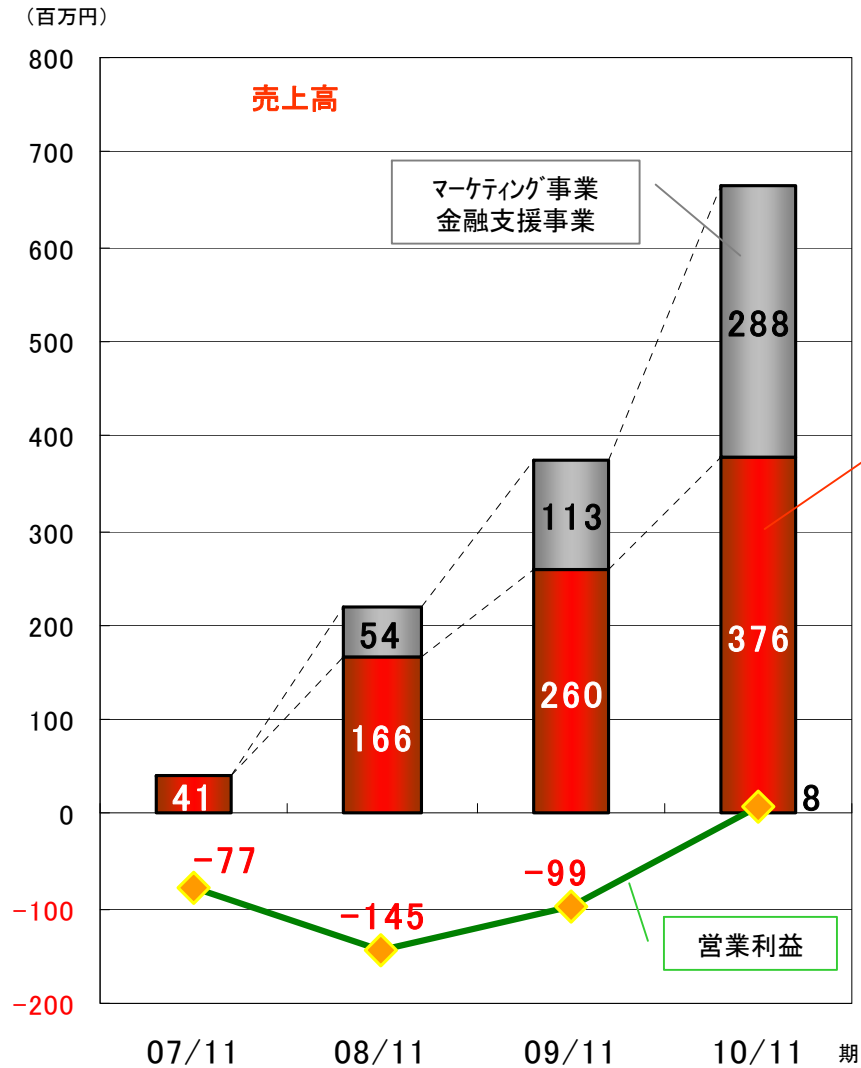


* 付属資料「イーサポートリンクの最大の強み 業務受託事業『BPO』」参照

「全ては農業生産者と生活者のために！」を企業理念に、他に類のないビジネスを展開



新領域「農産物ブランドビジネス」で成功体験を積み重ね、10/11期より大幅拡大を目指す



りんご事業

	08/11	09/11	10/11
取扱高… (予定)	2,000トン	3,000トン	4,000トン

- ・08/11期、事業基盤の整備と初期投資費用が発生し赤字
- ・りんごの取扱量のボリューム拡大中 ⇒ 09/11期より黒字化

りんご事業

マーケティング事業 + 金融支援事業

- ・08/11期、事業基盤の確立・拡張のため、初期投資の負担が発生
- ・09/11期まで、「産地開発」、「広告宣伝費」等の費用が嵩みマイナスだが、10/11期より黒字達成

⇒ ブランドの認知度アップに注力！

* マーケティング事業… 事業領域の拡大、体制整備に注力

* 金融支援事業… 体制整備中！本格稼働は、10/11期から

- ・ 07/11期は、連結子会社：(株)農業支援への先行投資費用などの発生により減益
- ・ 08/11期は、(株)農業支援に加え、調達支援ビジネスの立ち上げのため、赤字予算を計上
- ・ 09/11、10/11期には、安定した基幹ビジネスに、「調達支援ビジネス」、「販売支援ビジネス」が加わり、収入源となる

10/11期には、経常利益 10億円を目指す！

**当社は、さらに事業規模を拡大し、
生鮮青果物流通業界の標準となることを目標としています！**

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

【本件に関するお問い合わせ】

イーサポートリンク株式会社 社長室（IR担当）

TEL: 03-5979-0784 E-mail: IR@e-supportlink.co.jp